



稲田 雅士 議長

## 市民のみなさんへ

**市長** 新年、あけましておめでとうございます。平成25年の新春を迎えられ、謹んでお慶び申し上げます。今年もみなさんにとつて、輝かしい1年となりますよう、祈念申し上げます。

**議長** あけましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり、市民のみなさんのご多幸とご健勝をお祈りいたしますと共に、日頃のご支援助とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

## 昨年を振り返って

**市長** 議長就任、おめでとうございます。改めて、今どのようなお気持ちですか。

**議長** これまで18年間の議員生活の中で、様々な役職を経験させてもらいました。これから2年間、議員14人が協力して、市民のみなさんのためになるような議会運営を行っていききたいと思います。  
**市長** 我々も、しっかり手を

携えていきたい。本年もよろしく願います。

## 産業・文化・インフラ整備 明るい話題あふれる一年

**市長** 昨年を振り返ると、竹原市は、様々な面で充実していた年であったと感じています。産業振興の面では、竹原工業・流通団地の企業誘致。一昨年は株式会社ビットアイル、昨年はジャペル株式会社と、2年連続の企業誘致が実現しました。

**議長** そうですね。企業誘致は、新規雇用という点においても、大きなメリットだと思います。

**市長** はい、今後に期待しています。歴史文化の面では、昨年6月、歴史的風致維持向上計画が認定され、加えて重要伝統的建造物群保存地区認定30周年を迎えました。

**議長** 町並み保存地区は、観光の拠点となっています。年間を通して、様々なイベントがある。竹原の宝である町並みを、今後どのように生かし

ていこうかが重要ですね。  
**市長** そうですね。今、町並み保存地区は、「道の駅たけはら」などの相乗効果で観光客が増加しています。町並みの更なるブラッシュアップを図っていききたい。

**議長** そして、何より反響が大きいのが、アニメ「たまゆら」。

**市長** そう！第二期の製作も決定し、全国から、イベントなどに来ていただいています。心強い竹原ファンが増えました。「かくやパンダ」も、昨年のゆるキャラグランプリで県内1位となりました。障害者自立支援協議会のみなさんの努力と熱意、市民のみなさんの応援があったからだと思います。

**議長** そういった、アニメやキャラクターを活用したPRは効果的ですよね。今後も、どんどん生かしていきたい。  
**市長** 私もそう思います。インフラの面においても、仁賀ダムの完成や、本川の高潮対策、JR竹原駅のバリアフリー化の完了など、着々と整備が進んでいますよ。

**議長** 振り返れば、明るい話題が多い1年でしたね。

# 市民のパワーはすごい！

市長×議長

新春対談



# 2013年は、勢いのある年に！

竹原市は、今年、市制55周年を迎えます。

年頭にあたり、小坂政司市長と、昨年就任された、稲田雅士議長に、これからの竹原市について語り合っていたいただきました。



小坂 政司 市長

## 2013年の竹原市

市制55周年を迎えるにあたって

**市長** 今年、市制55周年を迎える年でもあります。昨年以上に、勢いのある年にしていきたい。

**議長** 勢いがあると言えば、竹原港。ビクターバースや中四国フェリーの跡地活用など、整備が進んでいますね。

**市長** そうです。竹原港は、広島空港に1番近い港。海と空と陸の交通の結節点として活用し、道の駅や町並み保存地区とも絡めていきたいと思っています。風向明媚な忠海港も、竹原港と同様に、みなさんのご協力によって、盛り上がっていますね。

**議長** たしかに。広島県の「海の道構想」と連携した、港を拠点としたまちづくりが重要だと思います。

**市長** そのとおりです。観光交流人口の拡大から、定住へつなげていきたい。点から

線に、そして、面に広がっていったら良いですよ。

**議長** そうですね。昨年、名誉市民となられた、陶芸家の今井政之さんがおっしゃるように、竹原は美しい自然に溢れています。海は、竹原の自慢。生かしていきたいものです。

## 市民の力と地域愛

**市長** 昨年、まちづくり懇談会で感じたのが、市民のみなさんが「安全・安心」を強く望まれているということ。

**議長** 東日本大震災以降、市民のみなさんの防災に対する意識が高まりましたよね。

**市長** はい。基盤整備や、ハードマップの製作など、ハード、ソフトの両面において、安全・安心なまちづくりを市民のみなさんと共に進めていきたい。それと何より、市民のみなさんの力はすごいと感じましたね。各地域での活動や、観光産業など、それぞれの分野で頑張っていた

ている。

**議長** それは、私も強く感じ

ます。子どもたちの通学時には、各地で見回り活動が積極的に行われていたり、地域に対する愛が感じられますよ。

**市長** そうそう。昨年開催された「ももねこ様祭」は、完全に市民のみなさんが企画されたもの。1000人も集まったのはすごい！議長の地元である吉名町では「よがんすのおく祭り」がありますね。

**議長** 「よがんすのおく祭り」は、毎年多くの人でにぎわいます。忠海町の「神明さん」など、竹原市民のパワーは本当にすごいと思います。かといって、市民に頼ってばかりではいけない。豊かさを実感できるまちづくりを、市民のみなさんと協働して進めていきたいですね。

**市長** おっしゃるとおりです。「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」の実現に向けて、みなさんと共に、活力ある、安全・安心なまちづくりを進めていきたい。市制55周年だけに、今年もゴーゴーでいきましょう！